

## 鈴鹿サーキット

# 2015年の活動内容について

### MENU

- 2015年主要レース・イベント カレンダー ..... P. 2
- 2015年に鈴鹿サーキットで開催されるレース・イベント ..... P. 3
- さらなる進化を続ける、モビリティテーマパーク 鈴鹿サーキット ..... P. 10
- 台湾・高雄市「SUZUKA CIRCUIT PARK」最新情報 ..... P. 12

## 2015年主要レース・イベント カレンダー

日程	レース・イベント	掲載ページ
3月7日・8日	第27回 2015 モータースポーツファン感謝デー Honda F1復活祭	-
4月18日・19日	鈴鹿2&4レース 2015年 全日本選手権スーパーフォーミュラ 第1戦 2015 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第1戦(JSB1000)	P.5
5月16日・17日	2015 D1 GRAND PRIX SERIES Rd.2 SUZUKA	P.6
5月23日・24日	SUZUKA Sound of ENGINE 2015	P.9
7月3日～5日	2015 FIMアジアロードレース選手権シリーズ第3戦	P.8
7月23日～26日	2015 FIM世界耐久選手権シリーズ第2戦 "コカ・コーラ ゼロ"鈴鹿8時間耐久ロードレース 第38回大会	P.8
7月31日・8月1日	FIA ALTERNATIVE ENERGIES CUP ソーラーカーレース鈴鹿2015	P.7
8月2日	2015 Ene-1 GP SUZUKA	P.7
8月29日・30日	2015 AUTOBACS SUPER GT Round5 第44回 インターナショナル SUZUKA 1000km	P.6
9月25日～27日	2015 FIA F1 世界選手権シリーズ 第15戦 日本グランプリレース	P.3
10月24日・25日	スーパー耐久シリーズ 2015 第6戦 スーパー耐久・鈴鹿	P.7
10月31日・11月1日	2015 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ最終戦 第47回 MFJ グランプリ スーパーバイクレースin鈴鹿	P.5
11月7日・8日	2015年 全日本選手権 スーパーフォーミュラ最終戦 第14回JAF鈴鹿グランプリ	P.5

## 2015年に鈴鹿サーキットで開催されるレース・イベント

2015 FIA F1世界選手権 第15戦 日本グランプリレース  
9月25日(金)～27日(日)



夢、再び。  
SUZUKA 2015 GRAND PRIX

### Hondaが7年ぶりにF1参戦

### マクラーレン・ホンダが23年ぶりに鈴鹿を駆け抜ける！



マクラーレン・ホンダ  
(開幕前テストの様子)

今シーズン、Hondaがマクラーレンにパワーユニットを供給。7年ぶりにF1に参戦します。1988年から4年連続ドライバーズ・コンストラクターズのダブルタイトルを獲得した「マクラーレン・ホンダ」の23年ぶりの復活に、大きな期待が寄せられています。

「JAPAN RISING 夢、再び。」をテーマとした今大会は、再び世界に挑戦する“日本のチカラ”への期待を込め、Honda応援席も登場します。また西エリアチケットを新設し、次世代の皆様にF1の魅力を感じていただけるよう、鈴鹿サーキットならではの様々な観戦環境を用意いたしました。

### マクラーレン・ホンダのバトン、アロンソらチャンピオン経験ドライバー5人と、チャンピオンに挑むトップドライバー達による激戦が期待されるF1日本グランプリ

マクラーレン・ホンダのジェンソン・バトンとフェルナンド・アロンソ、フェラーリのキミ・ライコネンとセバスチャン・ベッテル、そして昨年の王者メルセデスのルイス・ハミルトンの5人のチャンピオン経験ドライバーと、昨年、最後までチャンピオン争いを繰り広げたメルセデスのニコ・ロズベルグらによるチャンピオン争い。さらには2013年まで4年連続コンストラクターズチャンピオンに輝いたレッドブル、開幕前テストで好調なウイリアムズ、フォースインディア、ロータスなども上位争いに絡みそうな勢いをみせています。2015年シーズン、そしてF1日本グランプリは激しい戦いとなることが予想されています。



J・バトン



F・アロンソ



S・ベッテル



K・ライコネン



L・ハミルトン



N・ロズベルグ

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

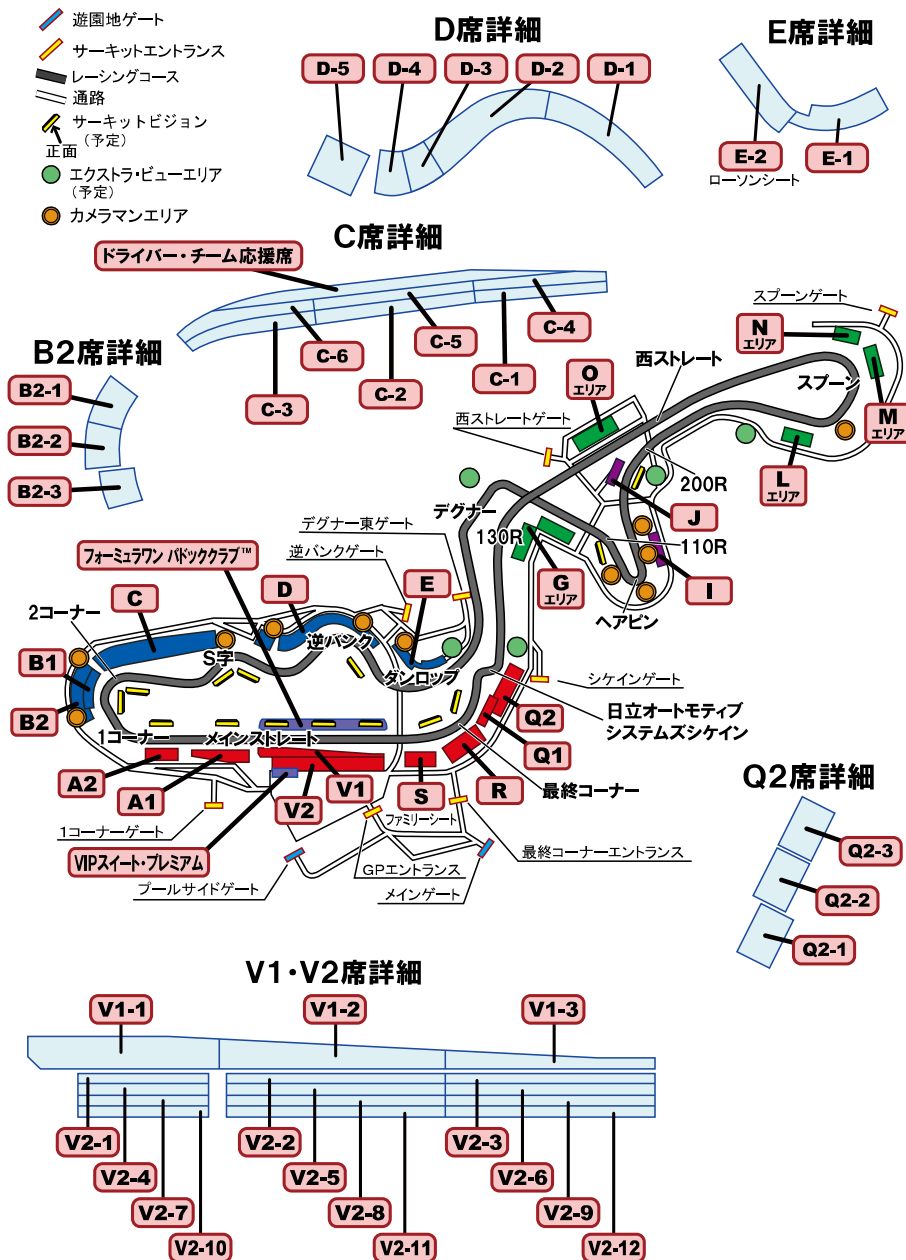
## 観戦チケット、Honda応援席は3月7日(土)販売開始 西エリアチケットは7月12日(日)より販売開始



過去のF1日本グランプリ 観戦席の様子

C席(2コーナー～S字コーナー)上段にHonda応援席が設置されます。メインストレート後半からS字コーナーまでを見渡せる絶好のポジションで、ファンの皆様为一体となって応援いただける環境を提供いたします。

3月7日(土)11時30分よりHonda応援席に加え、一般全指定席(企画チケットを除く)、駐車場セット券を販売。3月8日(日)10時よりメルセデスAMG応援席、ルイス・ハミルトン応援席、レディースシート、カメラマンエリアチケット、ファミリーシート、アウトレットシートを販売。7月12日(日)より西エリアおよび金曜日券を販売いたします。



**西コースエリアチケット**  
西コースの指定席(I席・J席)を除く、各エリアで走行シーンやイベントに応じて観戦ポイントを選択しながら楽しめるチケットです。また初設定となる「西エリアU23チケット」は15歳～23歳(中学在生を除く)の方にご利用いただけるチケットで、さらにお楽しみいただけるオリジナル企画も設定予定です。

**西コースエリア**

- ・Gエリア(立体交差・130R)
- ・Lエリア(スプーンカーブ)
- ・Mエリア(スプーンカーブ)
- ・Nエリア(スプーンカーブ)
- ・Oエリア(西ストレート)



## 鈴鹿2 & 4レース

4月18日(土)・19日(日)



2014年JSB1000レースシーン



2014年スーパーフォーミュラ  
レースシーン

### 2輪・4輪の国内最高峰レースが鈴鹿でダブル開幕！ スーパーフォーミュラ小林可夢偉の初戦に注目！

2輪、4輪の国内トップレースの競演。JSB1000とスーパーフォーミュラが同日開催されます。

JSB1000は、世界を代表する日本のバイクメーカーHonda、Yamaha、Suzuki、Kawasakiに加え、BMW、DUCATIといった海外のマシンも参戦。ライダー、メーカーが威信をかけた戦いをくり広げています。

昨年エンジン、シャーシともに一新されたスーパーフォーミュラはF1に迫る速さでレースが展開されました。今年も国内トップはもちろん、海外からも強豪選手が参加。中でも注目は昨年までF1に参戦していた小林可夢偉の12年ぶり国内レース参戦です。同じく、F1で活躍し、スーパーフォーミュラ2014年シリーズチャンピオンでもある中嶋一貴との対決が大きな話題となっています。

全日本選手権スーパーフォーミュラ、全日本ロードレース選手権JSB1000、ともに開幕戦として開催されます。また当日は家族みんなで楽しめるイベント「Enjoy Honda 2015 鈴鹿」も併催されます。

## 2015年 全日本選手権 スーパーフォーミュラ最終戦 第14回JAF鈴鹿グランプリ

11月7日(土)・8日(日)



小林可夢偉選手

### 昨年引き続き伝統のJAF鈴鹿グランプリとして開催！

鈴鹿サーキットで開幕するスーパーフォーミュラシリーズは、最終戦の舞台をここ鈴鹿サーキットに戻し、伝統のJAF鈴鹿グランプリとして開催されます。過去5年、最終戦がシリーズチャンピオン決定の舞台となっており、2015年も最終戦までチャンピオン争いがもつれ込む、激闘のシーズンとなることが予想されます。中嶋一貴、アンドレ・ロッター、ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ、山本尚貴らチャンピオン経験者に加え、F1で活躍した小林可夢偉がどのようにチャンピオン争いに加わってくるか、JAFグランプリの名にふさわしい戦いが展開されることでしょう。

### 小林可夢偉選手が中高生100名を鈴鹿2 & 4レース、およびJAF鈴鹿グランプリに招待！

日本の次世代を担う子どもたちにモータースポーツの魅力を肌で感じてもらおうと、小林可夢偉選手が中高生(鈴鹿2&4レースに100名、JAF鈴鹿グランプリに100名)を小林可夢偉応援席に招待いたします。当日は小林可夢偉選手と直接交流できるスペシャルな企画も計画されるなど、魅力的な内容となっています。

応募方法など詳細は鈴鹿サーキット公式ホームページにて、決定次第ご案内いたします。

## 2015 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ最終戦 第47回 MFJ グランプリ スーパーバイクレースin鈴鹿

10月31日(土)・11月1日(日)



2014年MFJグランプリ  
各クラスチャンピオン表彰式

### 4クラスが鈴鹿でファイナルバトル！

鈴鹿サーキットで開幕戦を迎えたJSB1000に加えJ-GP2、J-GP3、ST600、の全クラスがシーズ最後の戦いをくり広げます。JSB1000は2レース制で争われ、この鈴鹿がチャンピオン決定の舞台となりそうです。昨年はYamahaの中須賀克行がHondaの高橋巧の追撃を振り切って3年連続のチャンピオンを決めました。他のクラスも同様に最後まで激しい争いが展開されJ-GP2はMORIWAKIの高橋裕紀が、J-GP3はHondaの山田誓己が、ST600はHondaの小林龍太が最終戦でチャンピオンを決めています。今年も同様の接戦が展開されそうです。

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

## 2015 AUTOBACS SUPER GT Round5 第44回 インターナショナル SUZUKA 1000km 8月29日(土)・30日(日)



2014年鈴鹿1000kmスタートシーン



マザーシャーンを使用したロータス



ヘイキ・コバライネン  
(2011年F1日本グランプリにて撮影)

### F1で優勝経験もあるヘイキ・コバライネンが参戦！ 世界の注目が集まるSUZUKA 1000km

今年で44回目を迎える国内で最も古い歴史と伝統を誇るのが鈴鹿1000kmレース。SUPER GTシリーズの第5戦として開催されます。シリーズ中最長の1000kmで争われる今大会を制することは最強ドライバー、最強マシンの証明でもあり、各チーム「夏の鈴鹿制覇」を目指して激しい戦いをくり広げます。

昨年、新规定が導入されたGT500クラスに新型車両を投入したLEXUS、NISSAN、Hondaのマシンは驚異的な速さを披露。これまでにないハイスピードな戦いが展開され、今年はさらに進化したマシンによる高速バトルが期待されます。

多彩な車種が参戦するGT300クラスは今年も接戦となるのは確実です。その中で注目されるのが共通のオリジナルマザーシャーンを使用した車両で、すでに昨年トヨタ86がデビューしています。今年は新たにレーシングカーコンストラクターのムーンクラブが、マザーシャーンのロータスを製作。ランボルギーニ、メルセデス、BMW、ポルシェ、アウディなどのヨーロッパのGT3マシン、GT-R、プリウスなどの国産マシンたちとどんな戦いを見せてくれるのか楽しみです。

また今シーズンはF1の優勝経験もあるヘイキ・コバライネンが参戦。インターナショナルSUZUKA 1000kmは、これまで以上に世界中の注目を集めています。

## 2015 D1 GRAND PRIX SERIES Rd.2 SUZUKA 5月16日(土)・17日(日)



過去のD1グランプリ追走の様子

### 中部関西地区で今年初の公式戦。 国内最速220km/hからのドリフトは必見！

マシンを横に向けながらコーナーを豪快に駆け抜けるD1グランプリ。今年も鈴鹿の1～2コーナーを舞台にシリーズ第2戦が開催されます。時速220kmを超えるスピードで1コーナーに進入する様はまさに圧巻。さらに多彩な車種に加え、SUPER GTのトップドライバーなどバラエティに富んだ選手が参戦するのも大きな魅力となっています。

### 3歳～小学生・高校生のチケットがお求め安くなりました！

前売観戦券の料金が、3歳～未就学児は2,600円から1,200円に、小学生は2,600円から1,600円に、大人料金だった高校生は5,200円から3,400円に改定され、これまで以上にご家族で観戦しやすい料金になりました。

## スーパー耐久シリーズ 2015 第6戦 スーパー耐久・鈴鹿 10月24日(土)・25日(日)

### 5年ぶりの単独開催。50台もの年間エントリーが集まる多彩な車種の競演



2014年スーパー耐久レースシーン

今年、5年ぶりの単独開催となる鈴鹿戦は10月24日(土)・25日(日)の日程で、鈴鹿サーキット国際レーシングコースフルコースを舞台に行われます。

FIA-GT3マシンによって争われるST-Xクラス、3501cc以上の車両によって争われるST-1クラス、2001～3500ccの四輪駆動車によって争われるST-2クラス、2001～3500ccの二輪駆動車によって争われるST-3クラス、1501～2000ccの車両によって争われるST-4クラス、1500cc以下の車両で争われるST-5クラスの6クラスに、50台もの年間エントリーが集まり、多彩な車種が参戦するスーパー耐久。各クラスとも目まぐるしく順位が入れ替わる接戦が展開されています。

## 2015 Ene-1 GP SUZUKA 8月2日(日)



2014年Ene-1 GP KV-40に参戦した中学生チーム

### 中学生チームなど学生を中心に年々エントリー増加 今年は台湾学生チームも参戦を予定！

手作りマシンを使用、充電式単三電池40本だけで鈴鹿サーキット1周のタイムアタックを3回行い、合計タイムを競うKV-40チャレンジは、中学生・高校生チームを中心に、全国から多くのチームが参戦。今年は台湾の学生チームも参戦を予定するなど、年々エントリーが増加しています。また自転車を使用したKV-BIKEチャレンジは2年目を迎え、こちらもますますの盛り上がりが見込まれています。次世代エネルギーを用いた「ものづくり」と「エネルギーマネジメント」で、未来を担う若者たちが挑戦を続けています。

## FIA ALTERNATIVE ENERGIES CUP ソーラーカーレース鈴鹿2015 7月31日(金)・8月1日(土)



2014年ソーラーカーレース スタートシーン

### 歴史ある国際格式の次世代エネルギーカーレース

ソーラーカーレースは1992年の初開催以来、今年で24回目となる長い歴史を持つ国際格式のレースで、太陽電池で発電したエネルギーのみを動力源にした耐久レースを行うものです。一般・大学生チームに加え高校、高等専門学校チームも多数参加しています。ソーラーパネルの出力などで5つのクラスに分かれ、5時間、4時間の耐久レースが行われます。



**2015 FIM世界耐久選手権シリーズ第2戦  
"コカ・コーラ ゼロ"鈴鹿8時間耐久ロードレース 第38回大会  
7月23日(木)~26日(日)**



**60周年を迎えたヤマハが7年ぶりにワークス参戦決定！  
大会5連勝中のHonda勢、強豪チームを擁するスズキ、  
直系チーム復活2年目のカワサキが激突！**



2014年"コカ・コーラ ゼロ"鈴鹿8耐  
レースシーン

1978年の初開催以来38回目の大会を迎える"コカ・コーラ ゼロ"鈴鹿8時間耐久ロードレースは、毎年夏に開催され、8時間もの長丁場をハイスピードで走り抜ける、世界で最も過酷なバイクレースと言われています。

今年60周年を迎えたヤマハが、今大会にワークスチームとして7年ぶりに参戦することが発表されました。過去5年間優勝を分け合っているF.C.C. TSR HondaとMuSASHi RT HARC-PROのHonda勢、初代8耐優勝チームで近年は常に予選・決勝で上位に食い込み、2007年・09年に優勝も果たしているヨシムラスズキ、そして昨年13年ぶりにカワサキ直系チームとして参戦したTeam GREENらとの優勝争いが注目されます。さらに、世界を舞台に活躍するライダーや海外の強豪耐久チームが参戦し、"真夏の祭典"を盛り上げます。

**2015 FIMアジアロードレース選手権シリーズ第3戦  
7月3日(金)~5日(日)**

**ヤングライダー向けに、新たに2クラスを新設。  
アジアのトップライダーたちが5つのクラスで激戦を展開！**



2014年アジアロードレース選手権  
SS600スタートシーン

1996年から開催されているFIMアジアロードレース選手権。スーパースポーツ600cc(SS600)クラスをメインにアジア各国で開催されており、日本では鈴鹿サーキットを舞台に、今年で3年目の開催となります。Honda、Yamaha、Kawasakiが参戦しており、今年からSUZUKIが復活。日本の4メーカーが揃って参戦することになりました。日本人選手も毎年多数参戦し、アジアのトップライダーたちと熱い戦いを展開しています。今年250ccのアジアプロダクション250と、SUZUKIのライダーとして国内外で長年活躍してきた加賀山就臣が監修したスズキ・アジア・チャレンジが新設されたことで、若手ライダーの活躍が期待されます。

**SRS-Fチャレンジ**

**中学生からチャレンジできるフォーミュラスクールを新設！**



SRS-Fマシン走行シーン

1995年にスタートしたフォーミュラスクール「SRS-F(鈴鹿サーキットレーシングスクールフォーミュラ)」に新設されたプログラム「SRS-Fチャレンジ」が2015年4月にスタートします。対象年齢は14歳~17歳と中学生からチャレンジが可能で、鈴鹿サーキットレーシングスクール・カート(SRS-K)を受講しながら、早くからフォーミュラカーでの練習走行を行うことで、カートレースの経験と同時にフォーミュラカーでの実力を磨ける新プログラムです。



株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>



## SUZUKA Sound of ENGINE 2015

5月23日(土)・24日(日)

### 初開催！新たに7台のF1、4台のWGPマシンのデモランが決定！ 世界中の歴史的ヒストリックマシンが鈴鹿に集結！

日本初の本格的な国際レーシングコースとして開場した鈴鹿サーキットは2012年に50周年を迎え、次の50年に向けてスタートいたしました。この歴史的価値を絶やすことなく維持し続けるために、新たなヒストリックイベントを開催します。

現在、海外招聘7台・国内1台・一般参加6台の合計14台のF1マシン、さらに海外招聘のWGPマシン4台のデモランが決定しています。特にアイルトン・セナがF1デビューを果たし、豪雨のモナコGPでトップ争いをした伝説のマシン トールマンは鈴鹿サーキットで日本グランプリが開催される以前のマシンで、国内デモランは大変貴重な機会となります。その他にもチャンピオンマシンやチャンピオンに縁のあるマシンを多数招聘します。

#### 参加が決定した主なF1マシン、WGPマシン



マクラレン M23  
(1976年)



トールマン TG184  
(1984年)



ベネトン B190  
(1990年)



ベネトン B192  
(1992年)



ベネトン B193  
(1993年)



ウィリアムズ FW18  
(1996年)



ミナルディ B198  
(1998年)



PEPSI・SUZUKI RGV-γ 500  
(1989年)



Lucky Strike・SUZUKI RGV-γ  
500 (1994年)



カジバ GP500  
(1989年)



カワサキ KR500  
(1981年)

#### 参加が決定した主なゲスト



ケビン・シュワンツ



ケニー・ロバーツ

※マシン・ゲストは変更になる場合があります。

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

## さらなる進化を続ける、モビリティテーマパーク 鈴鹿サーキット

できた!が、  
いっぱい。

【3月1日(日)】

「アクロエックス エボリューション」「アドベンポート フロンティア」が  
パワーアップして登場!



アクロエックス  
エボリューション



アドベンポート  
フロンティア

3月1日(日)、ゆうえんち「モートピア」のアトラクション『アクロエックス』と『アドベンチャーポート』を、『アクロエックス エボリューション』『アドベンポート フロンティア』へと名称を改めパワーアップいたしました。

自らの操縦でのりものを進める2つのアトラクションがともに従来よりも難所やミッションを追加し、よりチャレンジングなアトラクションへと進化しました。一度で完全に攻略することが難しいため、お子さまだけでなく大人も目標達成に向け、何度でもチャレンジする楽しさを感じていただけます。

鈴鹿サーキットはこれからも、家族や仲間と一緒に遊びを通してチャレンジし、達成感を感じることができる「モビリティのテーマパーク」へと進化し続けます。

【3月1日(日)】

鈴鹿サーキットホテルの名称変更

進化した3つのコンセプトルーム



鈴鹿サーキットホテル North、West、Eastの名称を変更。進化した3つのコンセプトルームがよりわかりやすい名称になりました。

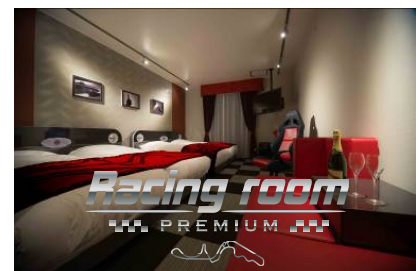
旧名称	新名称
Main	Main(変更なし)
ファミリールーム East	サーキット キッズルーム East
ファミリールーム West	コチラ ファミリールーム West
レーシングルーム プレミアム	レーシングルーム プレミアム(変更なし)



サーキット キッズルーム East



コチラ ファミリールーム West



レーシングルーム プレミアム

※写真・イラストはイメージです

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992

TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568

URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

【7月4日(土)】

**みんなの冒険プール「アクア・アドベンチャー」の「アドベンチャースライダー」が  
パワーアップ！**



2015年7月、みんなの冒険プール「アクア・アドベンチャー」の「アドベンチャースライダー」が、パワーアップして登場いたします。



※写真はイメージです

【2016年春 新登場のアトラクション！】

**国際レーシングコースを走行できる人気アトラクション サーキットカートが進化！  
先端技術を搭載し、モータースポーツの魅力を体感できる新しい施設として来春新登場！**

**プロドライバーが監修したマシンを2015年F1日本グランプリで発表！**



F1や8耐で数々のドラマが生まれた鈴鹿サーキット国際レーシングコースを、ご自身の運転で走行することはもちろん、先端技術が搭載されたマシンならではの様々な仕掛けをお楽しみいただけます。今後、プロドライバーの監修などにより本物のモータースポーツを体感できるよう開発を進めてまいります。なお、新施設として生まれ変わるサーキットカート進化内容の詳細は2015年F1日本グランプリの会場で発表いたします。

鈴鹿サーキットは今後も引き続き、未来のモータースポーツファンを創造してまいります。



## 台湾・高雄市「SUZUKA CIRCUIT PARK」最新情報

“夢のモビリティタウン”「SUZUKA CIRCUIT PARK」が12月にオープン！



完成予想図(イメージ)

株式会社モビリティランドは2014年6月、大魯閣グループ・基創實業株式会社(所在地:台湾)と、複合商業施設「大魯閣草衙道 (Taroko Park Kaohsiung)」における「鈴鹿サーキット」のライセンス使用、およびアミューズメント施設へのコンサルティング業務について正式契約を締結。現在2015年12月21日のオープンに向け、工事が進んでいます。

この施設内には「SUZUKA CIRCUIT PARK」が併設され、鈴鹿サーキット国際レーシングコースのレイアウトをイメージしたレンタルカートコース「ミニ鈴鹿サーキット」や、「アクロエックス」をはじめとした自らが操るのりものが多数導入され、コチラファミリーも登場いたします。



現在の工事の様子(3月5日)

### SUZUKA CIRCUIT PARKで展開予定のアトラクション

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・コチラドライビングスクール</li> <li>・チクタクトレイン</li> <li>・キッズバイク</li> <li>・ドリフトキッズレーサー</li> <li>・ドリフトS</li> <li>・アクロエックス</li> <li>・サーキットホイール</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニ鈴鹿サーキット(レンタルカート)</li> <li>・Gスピード(フリースタイル)</li> <li>・ドロップゾーン(フリーフォールタワー)</li> <li>・エアレーサーズ(スカイフライ)</li> <li>・カルーセル(メリーゴーランド)</li> <li>・タロコパークトロリー(路面電車)</li> </ul> |
|--|---|



キッズバイク



ドリフトキッズレーサー



コチラドライビングスクール



レンタルカート

※写真はイメージです

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>